授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　入谷小　　学校　　氏名　　舩戸麻衣

単元名　　第　5　学年　　「　　　　見学レポート　　　　　」

実践のポイント（工夫）

・事実と意見、感想を区別した文章

実践内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国語科学習指導案　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　舩戸　麻衣　１．日　　　　時　　　平成28年10月18日（火）第4校時（11：35～12：20）２．学年･組･場所　　　第5学年2組　33名　　教室３．単元（題材）名　　「見学レポート」４．本時の指導（6／8）　　　　　　　（１）目標　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事実と意見・感想を分けてレポートを書こう。（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 学　習　活　動 | 指導上の留意点・評価 |
| はじめ | 1.見学を振り返る。　NHKのジュニア学習会で知ったことや感じたことを振り返る。 | ・NHKの職員による話と子供たちの感想を分けて黒板に書いていく。 |
| なか | 2.文末表現を意識して使い分け、事実と意見・感想を区別する。・事実を示す。「～です。」「～ます。」・聞いたことや説明を受けたことを示す。「～そうです。」「～とおっしゃていました。」・自分の考えや思いを書く。「～と思いました。」「～と感じました。」3.レポートを書く。「誰が読むか」を考え、読み手を意識して書く。・項目に番号をつけたり、箇条書きにするなど読みやすい工夫をする。・常体と敬体の統一をする。・資料の引用を行う。 | ・事実と意見、感想をかき分けることができるように具体的な例を示す。・常に確認できるよう模造紙に内容を書く。・「誰のために」「何のために」を考えさせ、読み手にわかりやすい内容にすることを考えさせる。 |
| おわり | 4.本時の学習を振り返る。　次時に感想交流をすることを確認する。 | 【書】読み手を意識して事実と意見・感想を分けてレポートを書くことができる。 |

 |

振り返り（成果や課題）

・普段長い文章を書くことができない児童が、文章をたくさん書けた。

・聞いたことや説明を受けたことと、自分の考えや思いをかき分けることができた。

・この活動を通して、説明文の構成について理解を深めることができた。

・“論理的な文章を書く“という面で、題材はあっていたのか。

・論理的な文章を書けるようになるためには、継続して練習していく必要がある。